

保護者 様

玉名市立玉水小学校
校長 小田 博臣

令和7年度 学校評価 アンケート結果のお知らせ

春寒の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のことと存じます。

さて、後期にお願いしましたアンケートの集計結果が整いましたので、皆様にお知らせいたします。貴重な資料として今後の取組に活かしていきたいと考えております。今後とも保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

尚、今年度より質問項目を「育成を目指す3つの資質能力」及び「学校教育目標重点項目」に基づいて見直しを図りましたので、新設項目もあり経年比較できないところもございますがご了承ください。

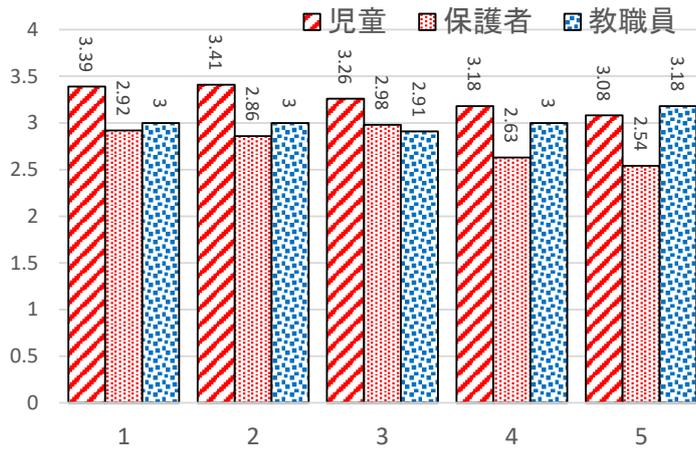
R7 学校評価アンケート(保護者・児童・教職員)結果

	評価項目	保護者				児童	教職員
		R5	R6	R7	比較	R7	R7
考 動 力	1 子どもは、授業が「楽しい」「分かる」と感じている。	3.09	3.28	2.92	▲	3.39	3.00
	2 子どもは、学習した基礎・基本(読む・書く・計算する)が身に付いている。			2.86		3.41	3.00
	3 子どもは、自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりすることができている。			2.98		3.26	2.91
	4 子どもは、家庭学習習慣が身に付いている。	2.52	2.47	2.63	◎	3.18	3.00
	5 子どもは、図書室などの本をよく読んでいる。			2.54		3.08	3.18
共 感 力	6 子どもは、学校に行くのが楽しいと感じている。	3.28	3.17	3.32	◎	3.39	3.36
	7 子どもは、気持ちのよい挨拶ができている。	3.22	3.05	3.09	○	3.20	3.00
	8 子どもは、相手のことを考えた思いやりのある言葉遣いをしている。	3.03	3.13	3.04		3.20	2.82
	9 子どもは、友達と助け合って仲よく生活をしている。			3.30		3.47	3.18
	10 子どもは、学校や社会のきまり、約束事を守っている。			3.29		3.46	3.09
や り ぬ く 力	11 子どもは、早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身に付いている。	3.24	3.11	3.12	○	3.34	3.00
	12 子どもは、好き嫌いなく残さず食べている。(望ましい食習慣を身に付けている)	2.83	3.09	3.06		3.26	2.90
	13 スマートフォン・テレビゲーム等は、家庭のルールを守って使っている。	2.67	2.80	2.65	▲	3.30	2.67
	14 子どもは、進んで遊んだり運動したりして体力を高めている。	3.06	3.18	2.89	▲	3.51	3.36
	15 子どもは、難しいことやきついことがあってもあきらめずに取り組んでいる。			2.81		3.28	2.91
信 頼 さ れ る 学 校 つ く り	16 学校は、子どもの悩みなどに適切に対応したり、いじめや差別をなくそうとする取組を行ったりしている。	3.04	3.16	3.01		3.61	3.45
	17 学校は、子どもの安全と事故防止に努めている。	3.21	3.22	3.28	◎	3.55	3.64
	18 学校は、整理整頓が行き届き、美しい環境が整備されている。	3.24	3.23	3.28	◎	3.35	3.27
	19 学校は、行事や集会等を通して子どもに力をつけている。	3.10	3.18	3.30	◎	3.25	3.64
	20 学校は、ホームページ・学校便り・学級だより等で、学校の様子を伝えている。	3.26	3.29	3.42	◎	3.37	3.64
	21 学校は、家庭や地域と連携を図りながら教育活動に取り組んでいる。			3.28			3.36
	22 育てたい力「行動力」「共感力」「やりぬく力」の育成に取り組んでいることを知っている。	3.27	3.22	3.29	◎	3.25	

○:前回と比較して向上 ◎:過去2回と比較して向上 ▲:過去2回と比較して低下

R7 学校評価アンケート(項目ごとの比較)

令和7年度年度前期アンケート結果
児童、保護者、教職員比較(考動力)



設問: 項目

- 子どもは、授業が「楽しい」「分かる」と感じている。
- 子どもは、学習した基礎・基本(読む・書く・計算する)が身に付いている。
- 子どもは、自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりすることができている。
- 子どもは、家庭学習習慣が身に付いている。
- 子どもは、図書室などの本をよく読んでいる。

【分析と対策】

・児童の意識の高さを感じる。
・「読書」においては、学校で借りる機会が増えたが、家庭で本を読む機会が少ないのではないかと。

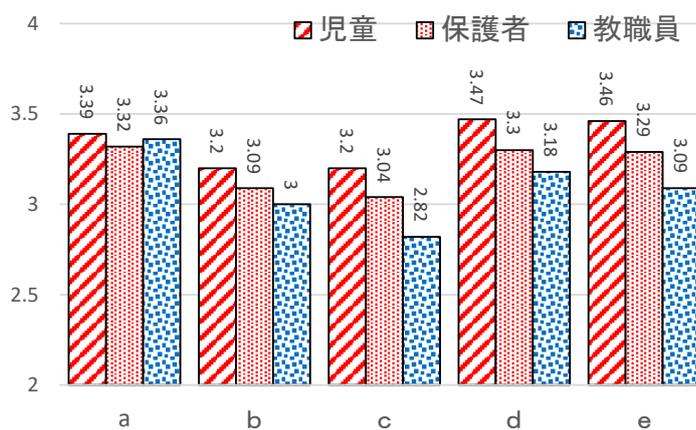
⇒今後も本に親しむことができる企画に取り組んでいくことで、本を読むきっかけづくりを行っていきたい。また、本を読む時間の確保(週に1回の読書の時間)などの環境づくりも大切にしていきたい。

・「授業が楽しい」と肯定的に考えている児童が9割と高い。その結果が学習内容の定着につながっていると考える。

⇒今後も校内研修、対話活動を充実させる。

⇒分かるまで丁寧な指導を行い、分かる喜びとやる気につなげていく。

令和7年度年度前期アンケート結果
児童、保護者、教職員比較(共感力)



- 子どもは、学校に行くのが楽しいと感じている。
- 子どもは、気持ちのよい挨拶ができている。
- 子どもは、相手のことを考えた思いやりのある言葉遣いをしている。
- 子どもは、友達と助け合って仲よく生活をしている。
- 子どもは、学校や社会のきまり、約束事を守っている。

【分析と対策】

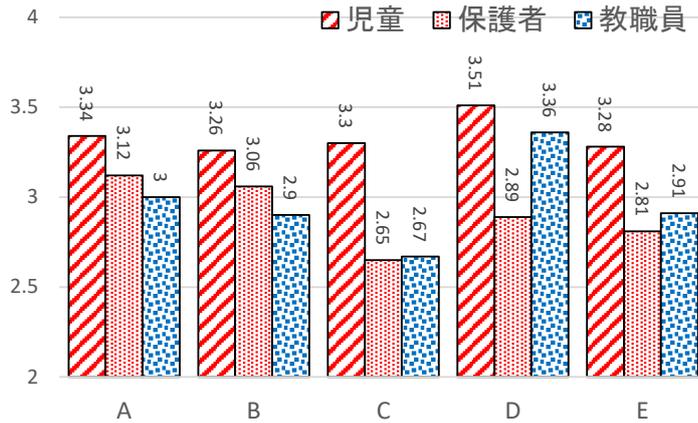
・「言葉遣い」「きまり」について、職員の評価が低くなっている。社会性において児童と大人の意識の差が大きい。

→めざす具体的な姿を児童と共有して、きまりや約束を守る態度の育成を図る。(道徳教育の充実)

・挨拶や言葉使いに課題がある。
→児童の実態を踏まえ、継続的な指導を行っていく。思いやりのある言葉があったときは、みんなで共有し広げていきたい。また、挨拶の質の向上に向けた取組をおこなっていく。

・「学校が楽しい」「友達と助け合って生活している」など肯定的な回答が多く、共感的なかかわりが育ってきている。

令和7年度年度前期アンケート結果
児童、保護者、教職員比較(やりぬく力)



- A 子どもは、早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身に付いている。
- B 子どもは、好き嫌いを残さず食べている。(望ましい食習慣を身に付けている)
- C スマートフォン・テレビゲーム等は、家庭のルールを守って使っている。
- D 子どもは、進んで遊んだり運動したりして体力を高めている。
- E 子どもは、難しいことやきついことがあってもあきらめずに取り組んでいる。

【分析と対策】

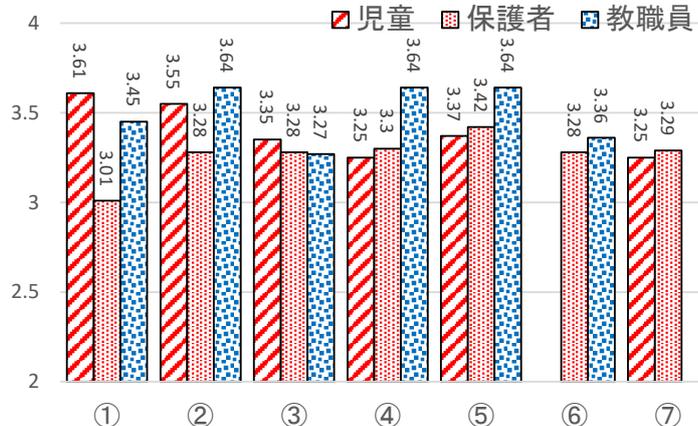
・「家庭のルールを守る」「あきらめない心」に児童と保護者・職員の意識の差がある。

⇒保護者や職員が日常的に伝えていることが児童の高い評価につながっている。しかし、意識は高まっているものの実態が伴っていない場面があるので、繰り返し伝えていく必要がある。

・外遊びと室内遊びの二極化が見られる。

⇒体を動かす環境づくりに努める。児童が体を動かす機会や経験(外遊びの励行や体育的イベント等)を増やしていく。

令和7年度年度前期アンケート結果
児童、保護者、教職員比較(信頼される学校づくり)



- ① 学校は、子どもの悩みなどに適切に対応したり、いじめや差別をなくそうとする取組を行ったりしている。
- ② 学校は、子どもの安全と事故防止に努めている。
- ③ 学校は、整理整頓が行き届き、美しい環境が整備されている。
- ④ 学校は、行事や集会等を通して子どもに力をつけている。
- ⑤ 学校は、ホームページ・学校便り・学級だより等で、学校の様子を伝えている。
- ⑥ 学校は、家庭や地域と連携を図りながら教育活動に取り組んでいる。
- ⑦ 育てたい力「行動力」「共感力」「やりぬく力」の育成に取り組んでいることを知っている。

【分析と対策】

・安全面や事故防止への取組について高い評価となっている。

⇒今後も三者で心をつなげて、安全安心な学校づくりに努めていきたい。

・行事や教育活動への理解と協力が得られている。

⇒今後も行事や集会などで児童が活躍する場を設定し、目標に向かって取り組む姿勢を育成する。

・「いじめや差別の未然防止と対応」については、児童の全項目の中で一番高い結果であった。

⇒今後も児童が安心して学校生活を送ることができるよう、日常的な見取りや声かけを行っていききたい。

保護者の皆様、アンケートのご協力ありがとうございました。今回、意見などを記入する箇所を設けておらず、大変申し訳ございませんでした。結果をご覧になり、学校へお伝えしたいことなどありましたら、教頭までご連絡ください。いただいた意見を今後の教育活動に活かしていきます。

今後ご理解、ご協力よろしくお願いします。